

千葉県と連携大学との研究成果発表会

— 生物多様性保全に向けての民学官の協働 —

第1部 (10:00~12:30) 千葉県と連携協定を締結している6大学が平成23年度に行った生物多様性保全研究の成果を発表。船橋市の生物多様性保全への取り組みについての報告もあります。

第2部 (13:40~16:30) 市民団体等による大学との連携事例の報告及び、民学官の協働による生物多様性保全のあり方を探る討論。

生物多様性保全の最先端に行く大学の研究成果や、市民団体と大学との連携体験を聞くことのできる数少ない機会です。どうぞお見逃しなく！



連携している千葉大学が遺伝子解析中のスズカケソウ 齋木健一撮影

平成24年11月4日(日) 10~17時 先着160名 参加無料
東邦大学習志野キャンパス 理学部V号館 (船橋市三山)

京成大久保駅より徒歩12分

主催：千葉県

共催：江戸川大学、千葉大学大学院園芸学研究科、東京海洋大学、東京情報大学、
東京大学大学院新領域創成科学研究科、東邦大学、船橋市

お問い合わせ先：千葉県生物多様性センター 043-265-3601

千葉県と連携大学との研究成果発表会

— 生物多様性保全に向けての民学官の協働 —

平成24年11月4日(日) 10~17時 先着160名 参加無料
東邦大学習志野キャンパス 理学部V号館 (船橋市三山)

第1部 市の取り組みと連携大学研究成果発表

藤田 清 (船橋市環境部環境保全課)

船橋市における生物多様性の確保に関する施策の構想について

須之部友基 (東京海洋大学) ・ 川瀬裕司 (千葉県立中央博物館分館海の博物館)

館山の魚類の多様性と繁殖期

清川紘樹 (東邦大学)

ヒートアイランドがクツワムシの生態に与える影響の検証

～クツワムシの分布および発音時間に着目して～

上原浩一 (千葉大学大学院園芸学研究科)

絶滅危惧植物スズカケソウとその近縁種の現状と保全

瀧下陽子・福田健二 (東京大学大学院新領域創成科学研究科)

柏市の希少植物生育地の管理履歴と保全主体

原慶太郎・田中健太・関山絢子・原田一平 (東京情報大学総合情報学部)

リモートセンシングとGISによる千葉の生物多様性保全

— サシバの保全を例に —

由良 浩 (千葉県生物多様性センター)

サシバの生息適地の推定

第2部 市民団体と大学との連携事例報告

古橋 勲 NPO法人 こんぶくろ池自然の森

大久保徹 NPO法人 ちば里山トラスト

神 伴之 人と自然をつなぐ仲間・さくら

佐野郷美 市川緑の市民フォーラム

森田考恵 NPO法人 しろい環境塾

矢野眞理 NPO法人 谷田武西の原っぱと森の会

宮後怜美・長沼博亮・月村友紀 里山応援隊

高川晋一 公益財団法人 日本自然保護協会

東邦大学習志野キャンパスまでの交通案内

- ・京成大久保駅から徒歩約12分
- ・JR総武線 津田沼駅 下車、北口4番・5番バス乗り場から「三山車庫」「二宮神社」「八千代台駅」「日大実籾」行きのいずれかに乗車。約10分「東邦大学前」下車。
(東邦大学のHPでも交通案内が見られます。)